

# 平成28年度 経過報告

第35回定期総会を昨年7月に開催してから1年が経過し、本日ここに第36回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をすするため開催するものであります。

建設業界では一部仕事の回復が見られますが賃金の上昇はみられません。このような状況の中で、組合のメリットを活用した年2回の拡大運動の取り組み、宣伝カーの活用など、分会・支部の組合員、役員、職員が厳しい拡大状況のなか奮闘し、春の拡大月間中は本部割当40名に対して、60名の加入者がありました。しかし、1年を通して脱退者、除籍者が183名と加入者の148名を上回り、昨年5月末の組織数を35名下回る1,820名で28年度を終えました。

地元国会議員に対し、大衆増税反対・インボイス制度実施に慎重な対応を求める要請行動をしました。

「アスベスト被害の根絶と前面救済を求めて公正判決を求める署名」「平和憲法の改悪に反対する要請署名」、建設国保の予算要求ハガキ運動などに取り組んできました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場にたって本部とともに取り組んできました。

尼崎市においては「尼崎市公契約条例

をめざす会」に参加し、条例制定の運動を他団体とともに進め、秋には公共調達基本条例が制定され、一定の勝利をおさめ、前進することができました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員のみなさんに心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

## 組 織 部

1. 組織部会を年4回開催しました。
1. 支部分会・組織活動者会議を3月26日に開催し、分会組織の充実、強化に向けた取り組みをしました。
1. 拡大推進委員会を9月26日と2月17日の年2回開催し、拡大運動に向けた行動を具体的に討議しました。
1. 組合員宅の訪問を春の拡大月間中に実施し、組合員とのコミュニケーションを図りました。
1. 支部組織強化のため、5月17日に専門部長会議を支部五役も含めて12名の参加で行いました。

会議の中で、班組織数の片寄りについて議論され、是正していく方向で意見が一致しました。また、次年度以降の組織拡大・強化のため、各専門部が組織部に対して何が出来るか提示していくことも確認されまし

た。

1. 本年も組織の拡大に向けて、ホームズ尼崎店、現場訪問などで宣伝物の配布及びその他諸行動に取り組みました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の9名です。又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた方に感謝状を贈呈して感謝の意を表しておりますが、今年度該当者はありませんでした。

## 平成28年度拡大功労者

(28. 6～29. 5加入分)

氏名	分会
棚 窪 松 男	立花南
川 本 秀 昭	立花北
駒 井 次 朗	小田南
佐 伯 雅 彦	大 庄
吉 岡 秀 之	大 庄
外 蘭 勝 義	武 庫
東 勝 己	園田西
柳 川 伸 也	伊丹南
上 甲 好 貢	宝 塚

## 役員表彰者

氏名	分会
該当者なし	

## 教 宣 部

1. 支部機関紙の発行回数は、新年号を含めて8回でした。そのたびごとに

企画編集会議を開きました。

1. 機関紙の内容は、支部・分会・専門部等の行事や活動記事、保険証交換学習会・税金申告相談会・レクリエーション・イベント等の連絡事項や、組合員及び御家族からの寄稿も掲載しました。又、労災防止・交通事故防止・健康問題なども取り上げました。

1. 新しい組合員を増やすため、拡大行動があります。支部・分会幹事の意欲、行動にも限界があり、拡大の重要性を組合員一人ひとりに機関紙で訴え、協力を要請しました。

1. 10月23日に行われた本部主催の教宣学習会に、実力をつけるために部員2名が参加し、写真撮影をする上での注意点・説得力のある文章の書き方を学び、機関誌作成、技術の向上に努めました。

1. 12月4日に支部教宣学習会を開催し、8名が参加しました。

1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

## 税 対 部

1. 1月23日、税金決算記帳講習会を開催し、28名の出席がありました。

1. 2月14日の部会で支部担当者の税金申告学習会を行いました。

1. 2月21・27日に尼崎市中小企業センター、2月28日伊丹スワンホール、3月2日女性センタートレピエにお

いて税金申告相談を行い、合わせて127名の参加がありました。

## 賃 対 部

1. 1月19日に本部で行われた支部本部合同賃対部会に支部より1名が参加しました。
1. 2月1日に行われた県連賃金討論集會に支部より1名が参加しました。
1. 3・25統一行動日には18名が参加し、立花南分会の七松・南七松町地区、中央分会の東難波・西難波地区を中心に4月9日にビラ・パンフ・ポケットティッシュ等2,300部を配布し、組織拡大に協力しました。
1. 賃対部会を3回開催しました。
1. 家計簿調査及び賃金アンケートに取り組み生活の向上を目指しました。
1. 公契約条例制定に向けた運動を本部及び各諸団体と共に取組んできましたが、公共調達基本条例というかたちで一定の成果を勝ち取ることができました。

## 住 技 対 部

1. 部会を3回開催しました。
1. 支部本部合同住技対部会に参加し、他の支部との交流を深めました。
1. 技能講習会の参加者は1名でした。
1. 尼崎市の潮江なつフェスに小田北分会と合同で参加して、住宅相談を行いました。イス作り体験を行い、職

人技をアピールしました。

1. 奉仕活動の依頼はありませんでした。
1. 社会見学会は20名の参加で、岡山県旧閑谷学校及び備前長船刀剣博物館に行きました。

## 社 保 対 部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が少なくなるように組合でも全建総連中央決起大会参加及び請願書・ハガキ要請行動など通じて努力してきました。
1. 新加入者集會を毎月2日（1月分は12月末日）に実施し、新加入者に対する組合活動や建設国保に対する認識及び、保険料等の納付についての説明を行い滞納のないように努めてきました。又未加入者の紹介のよびかけもあわせて、新加入者アンケートに協力していただきました。
1. 保険証の有効期限が11月30日までのため、11月度に20会場で、分会役員が主体となり保険証交換学習會を実施しました。そのなかで補助金現行補助水準獲得のための財務省への要請ハガキ行動に取り組みました。  
又、要請ハガキ行動は厚生労働省にむけても取り組みました。
1. 保険証交換学習會を分会役員が主体で行いますので建設国保、その他の資料説明に対する支部役員の学習會を実施してきました。
1. 保険料・介護保険料滞納対策につい

ては、毎月幹事会で分会単位で対応しましたが、滞納がない状況にすることは出来ませんでした。

1. 3月19日、講師をまねいて健康教室を開催し、26名が参加しました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、平成29年5月現在で221件です。新加入者集会にて、加入をすすめてきました。建退共の掛金は平成15年10月より1日310円となり、一人親方は1ヶ月23日、事業所は25日として統一しています。事務費として1ヶ月30円を徴収しています。
1. 労働保険事務組合総会を6月5日に開催しました。

## 青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月開催される青年部幹事会に出席し指導してきました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してきました。
1. 11月、2月、4月に行われた青年部のレクリエーションにも参加し交流を深めました。
1. コスモスの会の幹事会に出席し、活動に助言や協力をしました。
1. 11月に行われたコスモスの会のカルチャースクールに参加し交流を深めました。
1. 4月に行われたコスモスの会のレクリエーションで京都太秦映画村に参加し、交流を深めました。

## 財政について

1. 平成28年度収支決算書（別紙の通り）
1. 平成28年度決算において、剰余金が出たので別紙のとおり処分します。